



医学生のためご

6月号

そろそろ梅雨入りでしょうか

まだだと信じたいですね。謎風邪が全国的に流行っているとニュースでありました。みなさんは体調変わりないですか。5月のGW明けは体も心も沈みがちなので、気を付けてくださいね！

高校の進路指導の先生と先日話す機会がありました。参加生徒の感想をお伝えしたり、ご要望を聞き取ったりしました。「高校生は病院に雇われる機会は少ないため、なかなか医療現場の様子ややりたい医師像を想像できない」という話を伺い、たしかにそうだと思います。26年度もいろんな企画を開催しますので、参加するみなさんが少しでも「なりたい自分の姿」をイメージできるよう工夫していきたいなと思います。

奨学生が誕生しました

千葉民医連には現在、医学部奨学生が6名在籍しています。所属大学は関東に限らず、東北地方や海外にも及びます。国公立大が2名、私立大が3名、海外医学部が1名です。26年度は国公立大に入学した医学生が奨学生の仲間になりました！

今回は、千葉民医連の奨学生たちがどんな経緯で奨学生になったのかQ&A形式で説明します。みなさんも参考にしてみてくださいね。

Q1 いつ千葉民医連を知りましたか。

5名は医師体験などの高校生企画をきっかけに千葉民医連を知りました。複数企画に参加したり、広報資料を読んだりして奨学生活動のイメージを持ち申請に至りました。

Q2 いつから奨学生になりましたか。

4名は入学時、1名は1年生の前期終了時、1名は3年生になってから申請しています。学校生活をある程度経過してから、奨学金の必要性や学外の仲間づくりや学習の希望が生まれたときに問い合わせをしてくれる学生がいます。

Q3 各学年の内訳はどうなっていますか。

1年生:1名、2年生:2名、3年生:1名、4年生:1名、5年生:1名です。どの学年からでも、身近な先輩や後輩、同期がいることが特長になっています。

キーワードを深めよう 『医師不足③』

これまで、日本の医師数はOECD平均に対して「医師不足」であり、都道府県別で「医師偏在」が見て取れました。他にはどんな「偏在」があると思いますか。

今回は診療科ごとの医師数を調べてみましょう！ 図表が大きいので今回は載せませんが、前回までと同様に、厚労省が出している2024年の概況を参考にしています。

厚労省 医師数 2024 検索

主たる診療科別にみると、内科が一番多く、整形外科、小児科が次に多いようです。そして、気管食道外科が最も少ないです。もちろん今現在どの科が多くて少ないのかが大切です。しかし、過去と比べて増えているのか減っているのかも同じくらい大切です！

例えば、外科について2014年～2024年の統計を見てみましょう。2014年には1万5385人(全体5.2%)だったところ、2018年は1万3751人(4.4%)、2024年には1万2341人(3.7%)に減少しています。外科に興味がある高校生は、医師体験の申し込みでは多いです。ただ全国的には減少傾向なんですね。

では、どうして減少しているのでしょうか。むしろ増加している科はあるのでしょうか。ご自身の目指している科について、ぜひ調べてみてください！次回に続きます。

【お問い合わせ】

千葉県民主医療機関連合会（千葉民医連）

TEL：043-224-7497